

組合員数113,026人
支部数 937
読者数 69,031人
(連絡先) ☎03(5978)2751 FAX03(5978)2777
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。



第369号 2020年9月15日(火)
(通巻第568号)

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人 金子 民夫 月刊1部100円(組合費に含む)
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

コロナ禍のもと

来年度の年金引き下げないで

国会へ年内メドに緊急請願

「体が続く限り働き続けるよ。月にすれば10万円足らずの年金じゃ家賃と駐車場代にも足りないもの。それをさらに引き下げようなんてとんでもない。」

東京・大田支部

田中今朝好さん

田中さんは長野県出身。1953年17歳で上京し、墨田区向島の製館所、運転免許をとってからは港区の運送屋などで年金どころか健康保険にも加入していない状況で働いていました。

「年金じゃ生活できないよ」

83歳、毎朝11種の薬飲み仕事に

70年、義弟たちと一緒にコンピュータ組み立ての会社をはじめ、厚生年金にも加入していません。70年、義弟たちと一緒にコンピュータ組み立ての会社をはじめ、厚生年金にも加入していません。



職場で汗を流す田中さん

緊急署名217筆集約

北海道本部 年金支給日宣伝も

8月14日昼、北海道本部は札幌市大通公園で年金支給日行動と第75周年終戦記念の署名・宣伝行動を行いました。渡部務銅本部委員長

長寿喜べる社会建設へ
「日本高齢者人権宣言」策定中
年金者組合も参加す
コロナ禍によって高齢者の人権侵害・剥奪が一層進み、政府が世代間対立をありながら高齢者の人権侵害・剥奪政策を押し進め、社会的偏見や差別を

「作出助長」していることから、内容は「年金による差別の禁止」「暴力・虐待を受けない権利」「十分な生活水準への権利」など多岐に渡ります。長寿を喜べる社会建設へ「日本高齢者人権宣言」の議論を進めましょう。



全道16支部で取り組む

札幌西支部・小川基弘さん撮影

〈年金緊急署名とは〉
年金者組合が来年度の年金額改定にあたり緊急に取り組んでいる衆参両議長あて請願署名「コロナ禍からのちと暮らしを守る年金支給を求める請願」。請願項目は、①2021年度年金額改定は減額にしないこと、②基礎年金の国の負担分約3・3万円をすべての高齢者に保障すること。

コロナ禍と異常気象で高齢者がいのちと暮らしを脅かされているもので、来年度の年金改定では「マクロ経済スライド」や物価と賃金のどちらか低い方に合わせる「新改定ルール」など年金額切り下げの諸制度を適用せず、年金積立金の活用で年金支給額を改善するよう求め、年内集約をめざしています。

「飲みすぎたせいだろう」と笑いますが、糖尿があり、昨年は肝臓にがんが見つかり、1カ月入院しました。腎臓も悪く、毎朝11種類の薬を飲み働く田中さんです。

▽高齢夫婦の円満の秘訣は「程よい距離感」である。家に閉じこもっていても、争いが増えるばかり。一人暮らしなら孤独になるばかりだ。新型コロナの恐ろしさとは、家の外に足をたためらわせ、「感染者では」という疑いと恐れの人を人に向けさせることではないだろうか。

19年前65歳から支給を受けてきました。現在の年金額は1回18万円ほど。後期高齢者保険、介護保険料が天引きされて、年金が少なくな

活は娘が負担して、私は家賃、駐車場、公共料金を支払っている。月15万円はかかるから、年金だけでは不足することから、仕事をやめるわけにはいきません。自分の軽自動車で35キロほど走り、業務用冷蔵庫や製氷機の冷媒回収作業と廃棄の仕事をしています。

▽近所の人との付き合いでは「立ち話をす程度」が最多で、ドイツのように「相談したり、病気の時に助け合う」は少数。都市、町村の別なく日本の高齢者は人付き合いが希薄になっている。

風雪

▽2015年の政府機関の調査によると、65歳以上の世帯の33%が一人暮らし、33%が夫婦のみである。また、60歳以上の人の「親しい友人」有無では「全くいない」が26%もあった。